

第1章 公共用水域の水質測定結果

I 趣 旨

この水質測定結果は、水質汚濁防止法（昭和45年法律138号）第16条の規定により策定した「平成24年度公共用水域水質測定計画」に基づき測定した結果をとりまとめたものである。

II 調査の概要

- 1 期間・回数 平成24年4月から平成25年3月まで
項目により、毎月（年12回）から年1回実施
- 2 調査地点 県内公共用水域（河川、湖沼、海域）
- 3 調査機関 鳥取県、国土交通省、鳥取市、米子市、倉吉市、八頭町、伯耆町
- 4 調査項目 生活環境項目 10項目 BOD、COD、全窒素、全リン 等
健康項目 27項目 カドミウム、全シアン、鉛 等
要監視項目 29項目 農薬、全マンガン、ウラン 等
特殊項目 3項目 銅、亜鉛、鉄（溶解性）
その他項目 10項目 塩化物イオン、アンモニア態窒素 等

III 調査結果の概要

1 健康項目（表1参照）

37河川（千代川水系、天神川水系、日野川水系、旧加茂川、加茂川、大正川、蒲生川、塩見川、河内川、勝部川、由良川、加勢蛇川、阿弥陀川、佐陀川）97地点、4湖沼（湖山池、東郷池、多鯨ヶ池、中海）14地点及び2海域（美保湾、日本海沿岸）16地点において測定を行った結果、中海の1地点でふっ素が、また、湖山池の2地点及び中海の3地点においてほう素が環境基準を超過していた以外、環境基準に適合していた。

ふっ素及びほう素が環境基準に適合していなかった原因については、いずれも海水の影響を受ける調査地点であることから、海水に含まれるふっ素及びほう素の影響を受けたものと思われる。

2 生活環境項目

（1）BOD又はCODの環境基準適合状況※（表2、表5参照）

ア 河 川

（ア）千代川

千代川は、有富川との合流点から上流は類型AA（BOD 1mg/ℓ以下）、下流は

類型A（BOD 2mg/ℓ以下）の環境基準があてはめられており、環境基準地点5地点（類型AA水域3地点、A水域2地点）のすべてで環境基準を達成している。

また、補助地点の3地点（類型AA）も、すべて環境基準を達成している。

(イ) 天神川

天神川は、小鴨川合流点から上流は類型AA、下流は類型Aの環境基準があてはめられており、環境基準地点4地点（類型AA水域2地点、A水域2地点）の全てで環境基準を達成している。

また、補助地点の1地点（類型AA）も環境基準を達成している。

(ウ) 日野川

日野川は、日野橋から上流は類型AA、下流は類型Aの環境基準があてはめられており、環境基準地点5地点（類型AA水域3地点、A水域2地点）の全てで環境基準を達成している。

また、補助地点の3地点（類型AA）もすべて環境基準を達成している。

イ 湖 沼

(ア) 湖山池

湖山池は、類型A（COD 3mg/ℓ以下）の環境基準があてはめられている。環境基準地点4地点とも環境基準を超過しており、類型C（COD 8mg/ℓ以下）に相当している。

(イ) 東郷池

東郷池は、類型Aの環境基準があてはめられているが、環境基準地点4地点とも環境基準を超過しており、類型Cに相当している。

(ウ) 中海（鳥取県水域）

中海は、類型Aの環境基準があてはめられているが、環境基準地点3地点のうち、2地点において環境基準を超過しており、葭津地先で類型B（COD 5mg/ℓ以下）、米子湾中央部で類型Cに相当している。

また、補助地点6地点（類型A）のうち、5地点で環境基準を超過しており、美保飛行場地先、彦名町地先、中浜港、佐斐神町地先の4地点で類型B、旧加茂川河口地先の1地点が類型Cに相当している。

ウ 海 域

(ア) 美保湾

美保湾は、境港外港港湾計画水域については類型B（COD 3mg/ℓ以下）、その他の水域は類型A（COD 2mg/ℓ以下）の環境基準があてはめられており、環境基準地点8地点（類型A水域7地点、B水域1地点）の全てで環境基準を達成している。

(イ) 日本海沿岸海域

日本海沿岸海域は、類型Aの環境基準があてはめられており、沖合8地点の全てで環境基準を達成している。

※公共用水域の水質の代表的指標であるBOD（河川に適用）又はCOD（湖沼、海域に適用）の環境基準の適合性については、「各基準地点において、総測定日数の75%以上が環境基準を満足していること」とされている。

(2) 全窒素及び全燐の環境基準及び暫定目標値の達成状況（表3、表6参照）

湖山池においては、環境基準地点4地点とも、環境基準（類型Ⅲ：全窒素0.4mg/ℓ以下、全燐0.03mg/ℓ以下）を達成していなかった。

中海（鳥取県水域）においては、環境基準地点3地点のうち、1地点（境水道中央部）のみが、全窒素の環境基準（類型Ⅲ：0.4mg/ℓ以下）を達成していたが、全燐の環境基準（類型Ⅲ：0.03mg/ℓ以下）は3地点とも達成していなかった。

また、類型Ⅲの環境基準があてはめられている9地点（環境基準地点3地点、補助地点6地点）において、全窒素は4地点（うち環境基準地点1地点）、全燐は2地点（うち環境基準地点1地点）が「第5期中海に係る湖沼水質保全計画」の目標値（全窒素0.46mg/ℓ、全燐0.046mg/ℓ）を達成していた。

※湖沼に係る全窒素、全燐については、「表層の年平均値により評価すること」とされている。

(3) 平成23年度との対比と経年変化（表4参照）

ア 河川

(ア) 三大河川

千代川及び支流の八東川、私都川、佐治川の水質は経年的に見るとほぼ同程度であり、平成23年度と比べてもほぼ同程度であった。

天神川及び支流の小鴨川、三徳川、加茂川の水質は、経年的に見るとほぼ同程度であり、平成23年度と比べてもほぼ同程度であった。

日野川及び支流の法勝寺川、板井原川の水質は、経年的に見るとほぼ同程度であり、平成23年度と比べてもほぼ同程度であった。

(イ) 二級河川

二級河川8河川については、経年的に見ると大きな変化がなく、ほぼ同程度であり、平成23年度と比べてもほぼ同程度であった。

(ウ) 都市河川

玉川、旧加茂川、袋川の水質は経年的に見るとほぼ同程度であり、平成23年度に比べてもほぼ同程度であった。

イ 湖 沼

湖山池の水質は平成23年度に比べてやや高い値となっており、経年的に見ると、ほぼ同程度であった。

東郷池の水質は平成23年度に比べてやや高い値となっており、経年的に見ても、やや高い値であった。

多鯰ヶ池の水質は平成23年とほぼ同程度であり、経年的に見ると平成24年度はやや高い値となっている。

中海の水質は平成23年度とほぼ同程度であり、経年的に見てもほぼ同程度であった。

ウ 海 域

美保湾の水質は平成23年度に比べてやや良くなっており、経年的に見ると、ほぼ同程度であった。

日本海沿岸海域の水質は、平成23年度とほぼ同程度であり、経年的に見てもほぼ同程度であった。